

## 目標達成計画

作成日: 平成27年11月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |  |   |            |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 6    | 職員一人ひとりが、身体拘束・スピーチロックについてより深い理解を深め入居者が「ここに住んでよかった」と思えるように支援していくことが第一の課題である。 | 全ての職員が、何がスピーチロックになるのかの意識向上に努め、あらゆる場面で「言葉による拘束」が見られないようにする。 | 11月21日に職員2名が「身体拘束について外部研修に参加した。これを基に今月の勉強会で学び、ロールプレイ等を活用し入居者の気持ちを少しでも理解し改善していく。               | 3ヶ月        |
| 2        | 11   | 職員の日頃の思いや・疑問等を率直に話し合える機会が増えて、更なる質の向上を目指す。                                   | 思いを素直に話せる風通しの職場づくり・人間関係を築いていく。                             | コミュニケーションやアンケートをして、互いの思いや疑問を打ち明けられるようにしていく。   | 3ヶ月        |
| 3        | 1    | 理念に込められた思いを職員同士で話し合い、日頃のケアを振り返る機会を増やし、更なる介護サービスの質の向上に努めたい。                  | 理念に込められた思いを理解し、日々のケアで認識しながら業務をしていく。                        | 毎日の朝礼で理念を思い起こし、一日の業務でそれが実行できるように意識する。来月の勉強会が「倫理、法令遵守」なので、理念について話し合い、さらにスローガンを考えて日頃のケアに生かしていく。 | 3ヶ月        |
| 4        |      | ご家族のアンケートから 戸外の行きたいところへ出かけているかで分らないと回答無しが半数であり、ご家族へ日頃の様子が分るように努めたい。         | ご家族が日頃の様子が分り、安心していただけるように支援する。                             | 各担当が日頃の利用者の状態や様子を観察し、記録してそれを行事担当がお手紙に反映できるように連携する。面会時にも状態報告し、笑顔や喜んでおられた事を話して情報共有が出来るようにしていく。  | 1ヶ月        |
| 5        |      |   |  |   | ヶ月         |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。